



Sainokuni Higashiomiya Medical Center

彩の国東大宮メディカルセンター

研修医募集案内





Sainokuni Higashiomiya  
Medical Center



医療人としての第一歩を  
ここから始める



# Message

## 医療人としての第一歩を 充実した環境・教育体制の下で



院長 藤岡 丞

2019年1月1日付で院長を拝命しました藤岡と申します。坂本前院長の志を引き継ぎ、「患者さんも職員も笑顔になれる病院」を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

当院の最大の特徴は、診療科や職種を越えたチームワークの良さです。特にがん診療の面では、診断から手術、放射線治療、化学療法、さらに緩和ケアまで、高い知識と技術を身につけたプロフェッショナルの力を集約して、患者さんを中心にした質の高い医療を提供しております。また救急医療においても、より多くの患者さんに、より早く高度の治療を提供する体制を整えております。

もうひとつの特徴は、医療の本質である「患者さんに寄り添う心」です。心身を病んだ患者さんに少しでも癒しの環境を提供しようと、院内には木と水をイメージしたインテリアを創造し、病院でありながら病院でない安らぎの環境を醸し出しております。このような環境は私たち職員にとっても、伸びやかに自分の力を発揮し、心から患者さんに寄り添うことができる力を与えてくれます。

## 医学生の皆さんへ

これから医療の道を歩みだす皆さんは、社会から「良き医師」になることを強く求められています。「良き医師」にはさまざまな要素があると思いますが、まずは常に患者さんを思う心、多職種と笑顔でチームを築けるコミュニケーション能力、そして怠けなくなる心を抑えて自分を高める克己心が重要だと思います。

皆さんが「良き医師」になることを社会から求められている以上に、当院は臨床研修指定病院として「良き医師を育てる」ことを強く求められています。そのためにも病院として、さまざまな取り組みを行っています。

各診療科の医師は原則的に厚労省の指導医講習会を終了しており、熱心に指導に当たっています。EPOCに基づいて、しっかりしたカリキュラムと360度評価システムを備えています。女性医師を含む中堅医師数名をメンターに任命し、診療以外の悩みまで先輩として相談に乗っています。また女性の専従事務職員2名が、生活面まで含めてキメの細かいケアをしてくれます。

そのような環境のもとで、皆さんは「良き医師」への道を着実に歩いていけると自負しています。臨床研修医に選ばれない病院は、患者さんにも選ばれません。臨床研修の質の高さは医療の質の高さを示す良い指標であると考え、これからも臨床研修に力を入れていきます。

# Introduction



## 臨床研修センター長

副院長 長田 秀夫

診療科 脳神経外科

2015年 入局



## 「3年目での独り立ち」

当院の研修目標です。その為の様々な取り組みの一端をご紹介します。

### 1. 「挨拶をする」「時間を守る」「約束を守る」「協力する」

医師として成長していく上で最も重要な要素の1つと考えております。医師である前に、社会人としての常識は当然備えていなければなりません。当たり前のことを自然にできるように指導しております。皆様の多くは3年目以降、大学病院などに進んでいきます。どこに行っても恥ずかしくない人間性を磨いて頂きます。

### 2. チーフレジデントの選出

2019年度から開始しました。前年度2月に1年目2年目の全初期研修医のみによる投票で選出します。院内の各種部会への参加、研修医の意見・要望のとりまとめ、初期研修医採用試験の面接官の一員等々、上から与えられてこなすのみではなく、自ら考え行動し、自分達のみならず未来の後輩たちが更により良き研修をできるように活動していく中心的役割を担います。一方で同期によるチーフへのサポートについても注目し評価しております。

### 3. メンター医師制度の確立、センター長面接

初期研修医3-4人に1人の常勤医師を配置し、皆様のメンタルヘルスケアのみならず、メンター任期を1~2年とし、多くの指導医が専門分野だけでなく、初期研修医の日常に接することで、臨床研修センター自体の活性化を図っていきます。また定期的なセンター長との個人面談で、研修進捗の確認や今後の進路などについても相談できる体制です。

### 4. 学会発表などのプレゼンテーション教育

皆様は2年間の研修中、埼玉医学会総会、大宮医学会総会、大宮医師会主催の他院初期研修医との合同症例検討会などの学会発表、論文作成のほか、年2回ある院内学会、月1回の院内ランチョンセミナー、CPC（臨床病理）検討会、等々、多くのプレゼンテーションを実施する機会が与えられます。特に院内学会やランチョンでは専門科の枠を超えて院内常勤医や他職種が集い、様々な質疑応答を経験することができます。修了時にはスライド作成、プレゼンテーション能力が十分身につくように指導に力を入れております。

### 5. 各診療科の研修内容のフィードバック

時代や環境の変化とともに、研修メニューや指導医の考え方も柔軟な対応が要求されます。各診療科部長には皆様も参加する臨床研修委員会等を通じ、研修内容のフィードバックや改善など随時お願いしております。ローテートする各科で効率よく基本的技能や知識が身につくように努めております。そして当院の柱の1つである救急科（2次救急、年間7000件程度）の現場でcommon diseaseを中心にして幅広い分野の疾患、外傷などの初期対応能力を習得して頂きます。

将来に向けてまだまだ新たな取り組みを導入したり、改善していく所存です。  
一緒に頑張りましょう！！



副院長

神田 大輔



世界の中でも未曾有の少子高齢化社会を前に、これからの日本の医療は大きく変わろうとしています。皆さんが研修を終えて第一線で活躍する時にはどのような医師が求められているのでしょうか。

病気を診るだけでは、この高齢化社会を支えることは難しくなっているはずです。病気に対する医学的な治療だけではなく、患者さんの抱える様々な健康問題や周囲の家族・地域にも目を向けて、幅広い包括的な診療・ケアを行っていきける技量を持つことはとても大切なことだと考えています。きちんとした問診や身体診察に裏付けされた質の高い医療を提供できる優れた臨床技能、患者さんや家族のみならず他科医師や他職種、地域の医師会の先生方と密な連携を図ることのできるコミュニケーション能力、チーム医療の中心となれるリーダーシップを涵養し、地域の方々から信頼される医師を育てることを初期研修における当科の目標としています。そして、その先に専門的な診療技術を持つことがこれからの医師に必要とされていると思います。

現在内科の研修では、病棟での入院患者の診療、多職種参加による入院患者のカンファレンス、外来での初診患者の診療研修に加えて、週1回の症候診断の勉強会、EBMや論文の読み方の勉強会などのoff the job trainingも行っています。外来患者の診察は指導医とともにに行いますが、後日他の指導医とともに振り返りをする事で臨床推論やEBMを実践しています。また、全国的にもご高名な先生方にお越しいただき、院内教育講演会も積極的に行っています。

当院は平成27年7月に新病院に移転し、設備もスタッフもさらに充実しました。熱意ある指導医たちが、意欲の高い皆さんとともに診療できることを楽しみにしています。





# 「当院での救急科研修でファーストタッチの自信をつけよう！」

## 研修医1年目

2020年度入職 山形大学出身

当院での研修を始めて半年ほど経ちました。右も左も全く分からない状況から始まり、少しずつ出来るが増え、充実した研修生活を送っています。わたしは、病院見学のときに当院の救急科を見学し、実際に研修医の先輩たちが活躍している様子を見て、当院での研修を決めました。2年後にはこのような姿になって、研修医を終えたいと強く思ったのです。また専門的な症例も大事ですが、**common disease**を多く経験し、研修医としての力をつけたいと考えたので二次救急であり幅広い年齢、症例が集まる当院はとても魅力的だと思います。当院での救急外来での研修医の役割、当直業務についてお話ししたいと思います。

まず、救急科での研修についてです。救急外来ではホットライン（救急車からの病院収容依頼）を受けるところから研修医が行います。必要な情報を聞き取り、搬送を待ちます。救急車が到着したら、救急隊の方から話を聞き、患者さんの診察にうつります。問診、身体診察、神経診察等のファーストタッチを全て研修医が行い、その上で必要な検査を自ら考え、オーダーし実施していきます。鑑別を挙げて自分なりの診断や今後の方針を上級医の先生にコンサルトし、指示を仰ぎます。

初めわたしは、ホットラインを受け取るところから不安で、自分にできるだろうか、間違えたりしないだろうかなどと考えていました。しかし、先輩研修医や上級医の先生が適宜アドバイスをくださり、手厚いフォローをしてくれるので安心です。研修医の実力に合わせて患者さんを任せただけなので着実に実力を伸ばすことができます。ICも研修医が行うことがあるので、しっかりと理解していなければ噛み砕いて分かりやすく説明することはできません。横で上級医がやっているのを見学してできる気になると、実際に自ら考えてやるのとではぜんぜん違います。絶対に自ら考えることが実力をつける近道だと感じました。当院で救急科の研修を行えば、必ずファーストタッチの自信をつけることができると考えます。

次に、当直についてお話しします。当院の当直業務の内容は基本的に救急外来の業務と同様です。内科当直と外科当直に分かれており、それぞれ1年目と2年目の研修医、上級医の3人体制なので、計6人が当番です。病棟からコールがあればそちらへ向かい対処することもあります。基本的に研修医は救急外来の担当です。現在は月平均4回ほど当直の当番があります。必ず上級医の先生、先輩研修医がいますので、困っていることや分からないことは質問することができ、研修医だけにすべての仕事が押しつけられる状況にはなりませんのでご安心ください。

2年間のうちにファーストタッチは行えるようになりたいと考える研修医が増えてきています。当院では、着実に力をつけることができるため、非常におすすめです。先生方、看護師さんも熱を持って見守り指導して下さいます。任せてもらえる手技もたくさんあります。最近では救急車の受け入れ件数で、さいたま市の方からも表彰されました。

是非一度、当院に見学にいらしてみてください！！





## 「当院を志望した動機」

### 研修医1年目

2020年度入職 筑波大学出身

こんにちは、初期研修医1年目の五島(ごしま)と申します。  
当院での研修に興味を持っていただいた学生の皆様に、研修内容や雰囲気などについて簡単に説明しようと思います。

まず当院の研修内容ですが、1年目に必修科目、2年目に選択科目という構成になっています。1年目では2ヶ月ずつ各内科の病棟業務や救急外来での対応の仕方を学びます。学生実習の時にはできなかった(静脈/動脈)採血、薬の処方や入院時の手続き、患者さんの家族への説明なども行います。もちろん配属直後は指導医の先生や看護師の方々がお手本を見せてくれますが、配属1-2週間後くらいからは自分自身が主体となってこれらの業務をこなすこととなります。更に看護師、ソーシャルワーカー、理学療法士の方々と協力して退院日程、退院先の調整を行うといった業務もあり、3年目以降に必要な医学的な診断・治療以外の知識についても学ぶこともできます。これに加えて消化器外科や麻酔科での基本手技(挿管、縫合、中心静脈カテーテル挿入など)を多数学び、実践していきます。こうして学んだ知識・手技を活かして2年目の選択研修に備えることとなります。2年目からは興味のある診療科や、小児・産婦・精神科を回ることができます。この期間中に県内、県外の協力病院で研修ができることも当院の特色だと思っています。

次に当院の雰囲気ですが、指導医の先生方は教えるのが好きな先生方が多いという印象です。そのため、事前に手技のお願いをしておくことで積極的に研修医に手技をさせてくれます。私も先日、骨髄穿刺やCV挿入、胸水の穿刺吸引などを経験させていただきました。こうした先生方の方針から、当院での研修では主体的に動こうとする姿勢が大切だと感じています。ここまでの話を聞くと非常に忙しそうとか、厳しそうな病院という印象を持つかもしれませんが、そんなことはありません。基本的には朝8:30頃に出勤すれば良い診療科がほとんどで、夕方業務さえ終わってれば残業することはほとんどありません。そのため非常に働きやすく、また勉強時間も十分に確保できているので知識と実践のバランスがうまく取れた環境だと感じています。

さて、ここまで私の拙い説明でしたが当院での研修の一部を垣間見ることができたでしょうか。もっと知りたいと思っていただけたら光栄です。是非一度見学にいらしてください。その時は全力で対応させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。





# 「医師である前に社会人、 そして先輩に」

## 研修医2年目

2019年度入職 山梨大学出身

気が付けば早くも1年目の研修生活が終わり2年目の研修医ライフが始まっています。

この1年でたくさんのことを学びましたが、振り返ると「医師として」学んだことはもちろんですが、「社会人として」学んだことも多かった気がします。時間やルールを守る。笑顔で挨拶をする。責任を持って診療業務を行う。どれもできて当たり前のことであり、できない者は信頼を失います。当院は医学云々、医師云々の前にこれらのことに重きを置いた指導体制となっています。社会人として最低限の心構えを覚えてもらえるのはおそらく研修医の間だけでしょう。そして、しっかりと医療以外のことを指導してくれる研修病院はそう多くないのではないのでしょうか。

さて、話は少し変わりますが、いざ働き始めると悩ましい場面に幾度となく出くわすと思います。自分自身で解決しようとするのはもちろん大切ですが、どうしても行き詰まった時に誰を頼るでしょうか。

この1年間、指導医の先生やコメディカルのスタッフなど多くの方々から指導や助けを受けてなんとか生活してこられたわけですが、やはり研修医生活において2年生の先輩は偉大であり、頼りになる存在であると常々感じました。

国家試験に合格して多少の医学知識は備えたものの、実臨床のことなどほぼ何も分からないまま4月を迎えました。基本的なカルテ操作や病棟業務、他職種の方々との連携、患者さんとのコミュニケーション、どれも医学知識以前に必要な要素がたくさん待っていました。教科書や筆記試験と向き合っていれば良かった学生時代との決定的な違いであり、前述した「社会人になる」ということなのだと感じたのを覚えています。そんな時に真っ先に頼りになったのが1つ上の2年生の先輩方です。当院は研修医主体の体制となっており1年生も積極的に診療業務に携わりますが、いざという時に頼れる先輩がすぐ近くにいるというのは非常に安心感があります。これからは自分がその頼れる先輩にならなければと身が引き締まる思いです。

研修病院の選択は大いに悩むことと思います。病院選びにおいて医学的な研修内容に目が行きがちになりますが、我々研修医は医師である前に社会人なのです。社会人としての基礎をしっかりと身に付け、縦の繋がりの強い安定した環境で主体的に学び、充実した2年間を過ごしてみませんか？



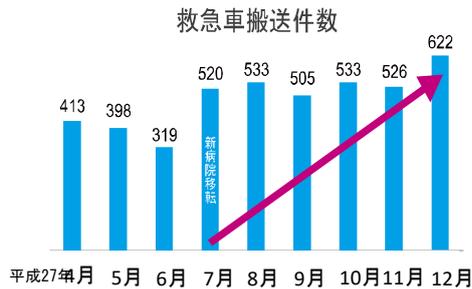
## 彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

### ● 救急

救急搬送件数は年間約6500件を超えるペースで受入れております。

1次、2次救急を中心に参加、小児科以外の患者はすべての受入れを目指しています。新病院移転後、「救急受入れ件数」並びに「救急受入率」とともに改善が認められ、平成28年9月、令和2年9月には、埼玉県より表彰されました。

救急部の研修では、“3年次の4月1日には一人立ちできているように”を研修コンセプトのもと、様々な疾患の初期対応が経験でき、研修医の皆さんの臨床力育成にも適しています。



ER



救急初療室



ICU



ICU病房

### ● 院内ICLS講習会・院内JMECC講習会 開催

ICLS : 当院で開催するICLSは、救急医学会認定のコースなので、学会認定の受講証を取得することが可能です。  
JMECC : 内科専門研修プログラムにて必須とされている救急蘇生講習会JMECCを年1回開催しています。



## 彩の国東大宮メディカルセンターの特徴

### ● 埼玉県がん診療指定病院としての機能

放射線治療（リニアック）・PET-CTの導入、外来化学療法室、がんサロンの充実を図るとともに、がん治療センターを開設しました。さらに、さいたま市初の緩和ケア病棟として22床を新規開設し、がんに特化した婦人科を新規立ち上げるなど、埼玉県がん診療指定病院として必要なハード面の充実を図っています。



緩和ケア病棟（個室）



放射線治療（リニアック）



がん治療センター

### ● 指導医数

臨床経験7年目以上で、指導医の資格がある上級医は、厚生労働省の定める「臨床研修指導医養成講習会」を受講しています。当院の常勤医師のほとんどが指導医であり、指導医をはじめ、科全体で研修医を育てる充実した指導体制をとっています。

### ● メンター制度

当院では、メンター制度を取り入れ、メンター1人につき研修医3、4名を担当しています。懇親会や普段の声かけを通じ、診療科に関わらず研修全般にわたり相談・サポート役を担っています。また、定期的な面談を行い、全体での情報共有に努めています。

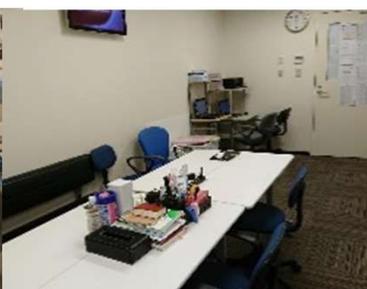


### ● 医局・研修医室・シミュレーションセンター

医局のデスクの他に、研修医同士、上級医とのコミュニケーションの場として研修医室を用意しています。さらに、研修医の教育環境の強化として、シミュレーションセンターを整備しています。



医局



研修医室



2段ベッド（研修医室）



シミュレーションセンター

# 主な年間行事

4月

## 研修医オリエンテーション・新入職員歓迎会・お花見

職種を超えて一同に学ぶことで新人としての意識の統一を図ります。



6月

## 院内学会（年2回）

各診療科の医師達が相互に診療内容を把握し理解を深め、さらなる信頼と協力関係を構築するために通常の学会形式で質疑応答を含め発表を行います。



10月

## AMG 大運動会

グループ病院の全職員が参加し、交流を深めます。



12月

## 病院忘年会

浦和ロイヤルパインズホテルで行われ、参加した500名以上の職員が一年の朗を労いました。



## 主な年間行事

1月

### AMG診療部交流会

病院の垣根を超えた診療部医師間の情報交換会

2月

### 大宮医師会症例検討会

自治医大さいたま、さいたま市民医療センターの研修医が集まり、代表者が症例を発表します。



### 埼玉県医学会総会

研修医の枠で発表をし、2年間のうちに1つの論文投稿をします。



3月

### 研修修了式 2年間お疲れ様でした



# 初期臨床研修医プログラムスケジュール

当院では、初期研修の2年間は、将来の専攻分野にかかわらず「プライマリ・ケアにおける基本的な診療能力を習得する期間」としてしています。厚生労働省が定める「経験すべき症状・病態・疾患」をこの2年間で達成できることを第一の目的としています。専門医になったときの實力差は専門知識の量と技術はもちろん、他科との境界領域の知識量にも表れると言われてしています。ぜひこの2年間は、しっかりと「generalist mind」を育てていただきたいと思いますと考えております。

## ●2020年度より初期研修制度における必須科目が大きく改定されました

＜必修診療科の改定＞ **必修分野として一般外来を新規追加  
産婦人科・小児科・精神科・外科が必修科目へ**

## ●研修プログラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	8週		8週		8週		8週		8週		8週	
	必修		必修		必修		必修		必修		当院必修	
	内科		消化器内科		循環器内科		外科		救急科		麻酔科	
2年次	4週	4週	4週	4週	4週	4週	24週（6ヶ月）					
	必修 協力施設	必修 協力型	必修 協力型	必修 協力型	必修	調整	自由選択科目					
	地域医療 （外実研修） 外部	精神科 外部	産婦人科 外部	小児科 （外実研修） 外部	救急科	必須科目 不足した 期間を 調整する	内科、循環器内科、消化器内科、外科、救急科、麻酔科、放射線科 整形外科、泌尿器科、脳外科、リウマチ内科、血液内科、 緩和ケア内科、病理診断科、皮膚科、形成外科、耳鼻咽喉科 ※小児科、産婦人科、精神科、地域医療					

■ 厚労省必須

■ 当院必須

■ 研修医の希望で自由に選択することが可能。但しプライマリケアを重視し、1つの診療科に偏ることのないよう調整する。

※スケジュールの順番については、研修医同士の調整が必要であり、順不同となります。

※小児科、産婦人科、精神科、地域医療について、4週以上を希望する場合は、協力型病院との調整になります。

※一般外来…地域医療、小児科、内科研修にてカウントします。

## ●協力型病院

### ・小児科研修

上尾中央総合病院（上尾市）  
越谷市立病院（越谷市）  
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）  
柏厚生総合病院（千葉県）…8週  
行政法人国立病院機構埼玉病院（和光市）

### ・産婦人科研修

上尾中央総合病院（上尾市）  
自治医科大学附属さいたま医療センター（さいたま市大宮区）  
国立病院機構西埼玉中央病院（所沢市）  
越谷市立病院（越谷市）  
埼玉医科大学総合医療センター（川越市）  
東京北医療センター（東京都北区赤羽）

### ・精神科研修

大宮厚生病院（さいたま市見沼区）  
横浜相原病院（神奈川県）

### ・地域医療研修

平戸市民病院（長崎）  
小池内科クリニック（さいたま市北区土呂町）

## 他にもこんなに充実!!

- モーニングレクチャー ●ランチョンセミナー ●院内学会 ●ICU勉強会
- EBMセミナー ●NST研修会 ●外部講師による講演会 など

レクリエーションも・・・★



- 新入職員歓迎会 ●院内旅行・BBQ・屋形船 ●納涼会（花火大会） ●AMG大運動会 ●大忘年会



## 新専門医制度について

新制度においては、2年間の初期研修を終えた医師が「総合診療専門医」を含んだ19の基本領域の分野を3年間で習得し、より詳しい専門分野として「サブスペシャリティ」へと進んでいきます。

### ● 基幹施設 内科専門研修



### ● 基幹施設 総合診療専門研修



### ● 連携・関連施設として各基幹施設と連携しています

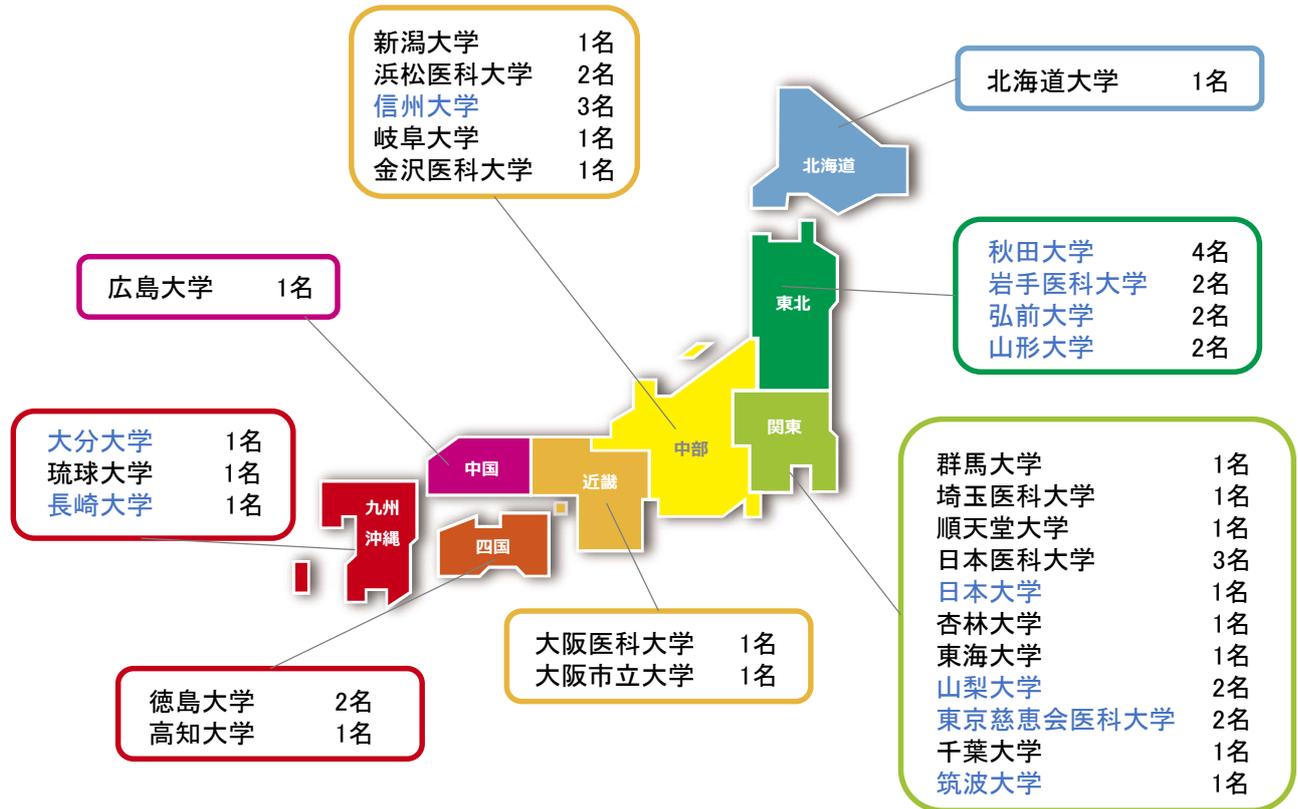
- ・外科 基幹施設 : 東京女子医科大学東医療センター 自治医科大学附属さいたま医療センター
- ・脳外科 基幹施設 : 防衛医大 慈恵医科大学
- ・整形外科 基幹施設 : 埼玉医科大学総合医療センター
- ・泌尿器科 基幹施設 : 埼玉医科大学病院
- ・救急科 基幹施設 : さいたま赤十字病院 自治医科大学さいたま医療センター
- ・麻酔科 基幹施設 : 埼玉医科大学総合医療センター
- ・放射線科 基幹施設 : 自治医科大学さいたま医療センター

## 研修医 出身大学一覧 (H26年度～R2年度)

全国各地から採用をしています。

大学別、男女比など関係なく、採用試験・面接試験により採用決定しています。

※青字は在籍研修医の出身大学です



## 初期研修修了後の進路

### 令和2年3月 修了生

- 内科専門プログラム (市中病院) 1名
- 泌尿器科専門プログラム (大学病院) 2名
- 整形外科専門プログラム (大学病院) 2名
- 脳神経外科専門プログラム (大学病院) 1名

### 平成31年3月 修了生

- 内科専門プログラム (市中病院) 1名
- 内科専門プログラム (大学病院) 1名
- 形成外科専門プログラム (大学病院) 1名
- 麻酔科専門プログラム (市中病院) 1名
- 麻酔科専門プログラム (大学病院) 1名
- 救急科専門プログラム (市中病院) 1名
- 精神科専門プログラム (市中病院) 1名
- 病理専門プログラム (大学病院) 1名

### 平成30年3月 修了生

- 内科専門プログラム (市中病院) 1名
- 内科専門プログラム (大学病院) 2名
- 形成外科専門プログラム (大学病院) 1名
- 整形外科専門プログラム (大学病院) 1名
- 麻酔科専門プログラム (市中病院) 1名

### 平成29年3月 修了生

- 当院、循環器内科にて後期研修を継続 2名
- 埼玉県内の後期研修病院へ
  - 精神科 1名 産婦人科 1名
  - 救急救命センター 1名 小児科 1名

# 彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修プログラム募集要項

## 1. 応募資格

該当する年度の3月に医師免許を取得している者、または取得見込みの者で、且つマッチングに参加する者  
当院の病院見学、またはオンライン見学に参加している者（新型コロナウイルスの影響により柔軟な対応を検討しております）

## 2. 採用試験の日程

### ①選考日

8月に2日間予定

### ②選考方法、個人面接、筆記試験（国家試験レベル）

\* 人物重視で選考します

## 3. 出願書類等

下記の書類を一括して封筒に入れ、下記提出先へ送付してください

①彩の国東大宮メディカルセンター臨床研修医応募願書（※指定様式 当院HP上に添付データあり）

②履歴書（必ず写真を添付してください ※指定様式 当院HP上に添付データあり）

③成績証明書・卒業（見込み）証明書

④健康診断書（大学発行のもので可）

⑤CBT成績証明書（任意）

## 4. 応募締切

7月末～8月初旬頃

## 5. 書類提出先・問い合わせ先

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町1522

彩の国東大宮メディカルセンター 臨床研修センター 宛

TEL: 048-665-6111(代表) URL: <http://www.shmc.jp/>

E-mail: [kenshui@shmc.jp](mailto:kenshui@shmc.jp)

## 研修医の処遇

①身分: 常勤職員（研修医）

②給与: 1年次450,000円/ 2年次500,000円（月額）

③勤務時間: 研修科によって異なる

①月～金 9:00～17:30 / 土 9:00～13:00(隔週) ...内科系

②月～金 9:00～18:00 / 8:30～17:30 ...外科系

④休暇: 有給休暇(1年次:10日/2年次:11日)

⑤休日: 日曜、祭日、年末年始(12/30午後～1/3迄)あり

⑥当直: 土日、日当直あり 月4回程度（1年次15,000円/回 2年次 25,000円/回）

⑦宿舎: 医師住宅規定により住宅を貸与する。家賃補助有り(5万円/月まで) 赴任時引越し料補助(20万円まで)

宿舎はマンションタイプ(多くの物件から選んでいただき、当院が契約を結びます(借上社宅))

⑧保険等: 協会けんぽ・雇用保険・厚生年金・労働者災害補償保険

⑨健康診断: 2回/年

⑩医師賠償責任保険: 病院において加入

⑪学会・研修会等: 参加費用有(8万円/年) 3回/年(公休扱い)

⑫食事: 職員食堂・コンビニ・ベーカリーあり

⑬福利厚生: 療養費還付制度、職員旅行、保養所



車でお越しの場合



- 首都高速埼玉新都心線 「さいたま見沼」ICより約18分
- 東北自動車道 「岩槻」ICより約21分

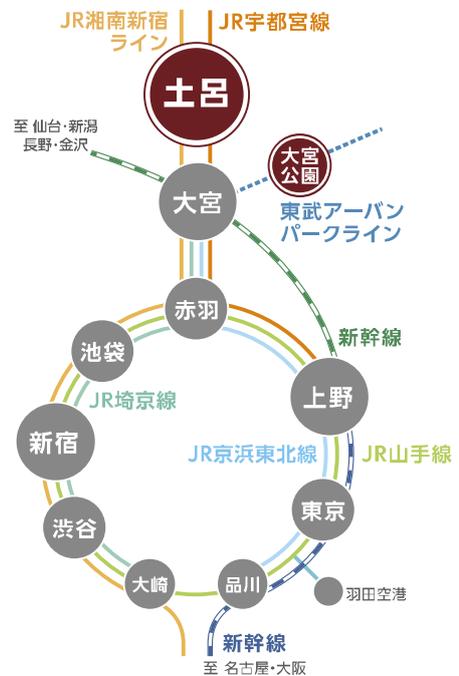
電車をご利用の場合



- JR(宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン)  
 「土呂駅」東口より徒歩11分  
 大宮駅→土呂駅 3分  
 浦和駅→土呂駅 11分  
 久喜駅→土呂駅 17分  
 上野駅→土呂駅 30分  
 池袋駅→土呂駅 30分

- 東武アーバンパークライン(東武鉄道)  
 「大宮公園駅」より徒歩9分  
 大宮駅→大宮公園駅 4分  
 春日部駅→大宮公園駅 17分

※上記時間は目安としてご利用ください



医療法人社団協友会

彩の国東大宮メディカルセンター

〒331-8577 埼玉県さいたま市北区土呂町 1522